

事業所名 神戸町立たんぼぼ学園

支援プログラム（公表）

作成日

2025年

3月

3日

法人（事業所）理念		療育を通して、神戸町に住む支援が必要な子どもの困り感を軽減するための支援を行う。また、保護者や地域と連携を図り、子どもが育つ環境を整え、個々の成長を促す支援を行う。					
支援方針		個別支援計画に基づき、日常生活における基本的動作の指導や知識技能の付加、集団生活への適応などを遊びを通して必要な支援を行う。					
営業時間		9時	00分	16時	30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	日々の活動の中で、健康状態を確認する。 基本的な生活習慣や身辺自立のスキルを獲得できるよう支援する。（着脱・トイレトレーニング・手洗い・遊びを通じた箸やスプーンの操作・スナップボタンの練習など）					
	運動・感覚	姿勢運動、動作の向上をねらい、プレイルームでの感覚運動遊び、サーキット遊びやリズム遊び、体操、ボール遊び等を個々の発達に応じて行う。 年10回 外部講師による作業療法を行う。					
	認知・行動	五感を活用した遊びや製作、感触遊び等を通して、必要な認知の習得をする。 動物、生活用品、食べ物、色、形、数などのカードを使って物の名称や概念を習得する。 危険なことや安全なことについて、体験を通して理解を促す。					
	言語 コミュニケーション	遊びを通して、相手に思いを伝える方法を身に付ける。（言葉、ジェスチャー、カードなどその子なりの伝え方） 絵本やカードなどを使い、物と言葉、行動と言葉の意味が一致するよう支援する。 あいさつの習慣を身に付ける。 年4回 外部講師による言語療法を行う。					
	人間関係 社会性	個別指導では、担当者との関わりの中で、家族ではない他者との関係づくりを行う。また、小集団活動では、友だちとの関わりを経験し、広げていく。（ごっこ遊び、まねっこ遊び、ゲーム遊び等）					
家族支援		個別懇談会（年2回）・ペアレントトレーニングの開催する。 ママの会（就学に付いての説明会・学校見学・各年齢ごとの相談会等）			移行支援		幼稚園への入園時や小学校への就学時期において、支援の引継ぎ、情報共有を行う。
地域支援・地域連携		園訪問や保育士との情報交流会を行い、利用者の様子を共通理解する。 神戸町ネットワーク研究会にて、幼稚園、小学校との連携を図る。			職員の質の向上		岐阜県障害幼児研究会への参加、西濃圏域療育スタッフ研修会への参加、 保育士等合同研修会で療育や保育支援についてスキルアップのための研修を行う。
主な行事等		年3回 家族参観を実施。年2回 避難訓練を実施（神戸町障がい者生活介護施設もちのき園と合同） 夏の親子ふれあい遊び（全学年）・秋の親子遠足（未就園児）・電車体験（年長児）・クリスマス会（未就園児）・節分会・入学を祝う会（年長児）					